

# 私の流れ星



charming yumiko



ある日の夜  
私の胸に  
流れ星が落ちてきた・・・

私の胸には 星が刺さり

胸も

心も

何もかも

傷だらけになった・・・



私は毛布をかぶり  
痛みと  
悲しみに  
途方に暮れた・・・

朝の光も  
月の明りも  
大嫌いになった・・・





を見た

ある日窓から  
家の前にとまっている赤い自転車

誰の自転車かな・・・



次の日も

次の日も

自転車はあった

いつの間にか

私は自転車を見るのが

楽しみになった



雨の日 . . .

自転車に鍵をかける彼を見た

私の胸の星が

ぎゅーっと深く

痛みを思い出させた . . .



そして  
私の胸の星は  
再び  
私の胸で光りだした・・・

光が彼を振り向かせた

「綺麗・・・  
君の星をもっと見せて・・・」





カーテンの裏の私は  
そっと顔をのぞかせた・・・

彼をもっと見たかった・・・

彼が微笑む

私の星は 空に

飛び出した・・・



と  
向けて  
.

私の胸には  
星の跡が残った・・・



彼が言う . . .

私の星が一番 素敵 . . .

私の胸の星形が

一番 綺麗 . . .

いる . . .

私は

私だけの星を持って

私は  
私だけの星を持っている . . .



星形の傷を持つ私が  
本当の私 . . .